

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平1-137624

⑬Int. Cl. 4

H 03 H 9/25

識別記号

府内整理番号

⑭公開 平成1年(1989)9月20日

D-8425-5 J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮考案の名称 弾性表面波デバイス

⑯実 願 昭63-34928

⑯出 願 昭63(1988)3月15日

⑰考案者 山田 弘通 京都府長岡市天神2丁目26番10号 株式会社村田製作所内

⑯出願人 株式会社村田製作所 京都府長岡市天神2丁目26番10号

⑯代理人 弁理士 森下 武一

⑰実用新案登録請求の範囲

基板表面に入力側電極と出力側電極を設けてなる弾性表面波デバイスにおいて、

前記基板底面に略菱形をなす格子状の溝を、該格子の一方の対角線が表面波の伝搬方向と略一致する様に設け、

前記対角線寸法Wと溝の深さDと基板の厚さTと入出力電極の実質中心間距離Lとが、 $(T/D) \leq (L/W)$ の関係を満足すること、

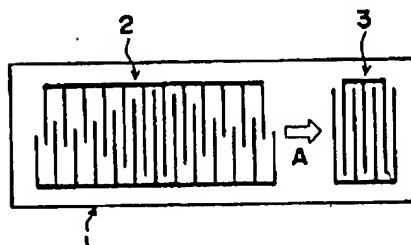
を特徴とする弾性表面波デバイス。

図面の簡単な説明

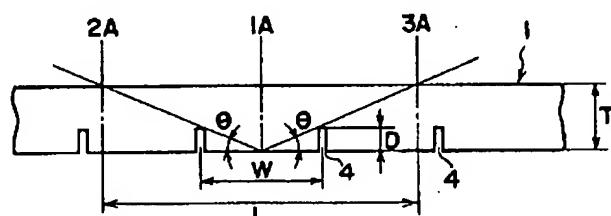
第1図ないし第4図は本考案に係る弾性表面波デバイスの一実施例を示し、第1図は平面図、第2図は基板底面に形成された溝の条件式を説明するための断面図、第3図は底面図、第4図は周波数特性を示すグラフである。第5図は比較例の周波数特性を示すグラフである。

1…基板、2, 3…電極、4…溝、A…表面波伝搬方向。

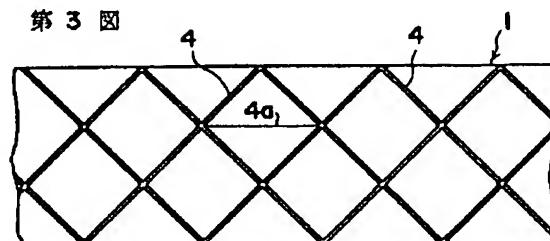
第1図



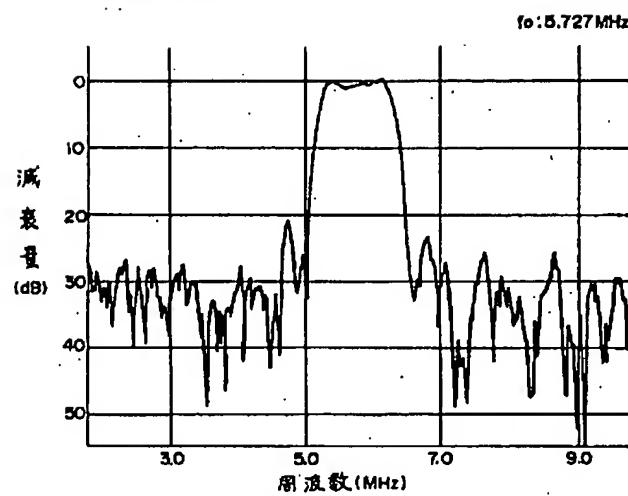
第2図



第3図



第4図



第5図

